

1. 評価結果概要表

作成日 平成 21 年 11 月 8 日

【評価実施概要】

事業所番号	0590300018
法人名	社会福祉法人会和会
事業所名	ビハーク横手グループホームぬくもり
所在地	横手市上境字谷地中 1 3 6 番地 (電 話) 0182-35-6131
評価機関名	秋田マイケアプラン研究会
所在地	秋田市東通
訪問調査日	H21年11月07日

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

法人が経営する他施設との同一敷地に立地し、自然環境に恵まれた郊外にあります。行事等も法人の優位制を活用し地域住民には広報等で伝え参加を促しています。CAPP訪問活動施設として定期的な訪問を受け入れています。スタッフのメンタルヘルスにも取り組んでいます。食堂兼居間の大きな窓からは、農作業の風景から季節の移り変わりを感じとることが出来ます。ホームとして「家庭的な雰囲気及び地域との関わりを大切にケア」を目標に利用者・家族及びスタッフ等の共同作業としての生活創造に取り組んでいます。

【情報提供票より】 (H21年10月27日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成18年4月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	15人	常勤 15人, 非常勤 0人, 常勤換算	15人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1階建ての	～ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	22,950 円	その他の経費(月額)	10,500円	
敷 金	有 (円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		850円	

(4) 利用者の概要 (10月17日現在)

利用者人数	18名	男性	0名	女性	18名
要介護1	1名	要介護2	5名		
要介護3	10名	要介護4	2名		
要介護5	要支援2				
年齢	平均 83.4歳	最低 74歳	最高 96歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	福嶋内科医院、平鹿総合病院、俵谷歯科医院
---------	----------------------

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4) 前回の評価後はケアプラン関係についてスタッフ討議を重ね見直しに取り組みました。居室担当制になっています。担当者が日常ケア及び家族からの情報を把握しアセスメント・モニタリングそしてカンファレンスをスタッフ集団で行いケアプランを作成しています。又、入浴についても利用者の希望を取り入れた改善が成されています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4) 今回も外部評価への取り組みはスタッフがそれぞれ作成し、スタッフ集団のミーティングで討議し作成されました。スタッフ等及び管理者との共同作業として取り組んでいます。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6) 運営推進会議は2カ月に1度定期的で開催されています。メンバーは家族会会長・市婦人会会長・地区民生委員・包括支援センター・市役所担当課・NPOかがやきネット及びホーム関係者で構成されています。そこでは、運営状況及び介護保険制度等について報告及び討議が積極的に行なわれています。外部評価の結果についても報告されています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8) 家族との面会時等に利用者の生活状況等の情報交換及び要望についての意見交換等が行なわれ、家族の合意を得て日常ケアが展開されています。ケアプラン作成も家族との共同作業として位置づけ取り組んでいます。
重点項目③	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3) 法人で取り組む行事時には広報等で地域住民に知らせ参加を促す取り組みが行なわれています。又、ドライブ等可能な限り外出の機会を多く保つよう努力しています。外出時は外食も楽しんでいます。地元婦人会等のボランティア等を受け入れることにより地域住民との関わりを大切にしている取り組みが行なわれています。

2. 評価報告書

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の基本理念のキーワードは「地域福祉」です。この基本理念に基づきホーム・ユニット毎の目標が設定されています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念はホーム内に掲示されています。ミーティング時も唱和しています。又、スタッフ全員で年度末にこの理念に基づき振り返りも行なわれています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	法人内の収穫祭等には広報で地域住民に参加を呼びかけています。又、法人内にある保育園との交流が行われています。調理ボランティア・地域婦人会等のボランティア訪問等を活用し地域住民との交流を保つ取り組みが行なわれています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	スタッフは評価作業に取り組む過程でケアの振り返りを行い、新たな課題・目標に取り組んでいます。又、スタッフ集団としてコミュニケーションを図り、日常のケアに反映させています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	スタッフも運営推進会議に参加し、意見を述べることによってサービス向上に繋がっています。更に、参加していないスタッフへ会議の内容を伝達する取り組みも検討されています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政とは日常的な情報交換が行なわれています。市ケアマネとの定期的な交流も保たれています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	定期的に利用者の生活状況の報告を行なっています。家族の面会時等に家族からの要望を意識的に引き出す働きかけが行なわれています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常的に利用者家族との信頼関係を大切にしています。家族の意向はケア内容に反映し、家族から同意・納得して貰いケアに取り組んでいます。家族の要望でカーテン等の改善を行なったことがあります。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人では定期的な人事異動があります。異動が発生した時は本人・家族に説明し便り等で紹介し出来るだけ異動等により利用者への影響を少なくしています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修会には積極的に参加を促しています。伝達学習も行なわれています。スタッフの希望するテーマでの内部学習会も行なわれています。スタッフ等のメンタルヘルス事業にも取り組みストレス解消に役立っています。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>県・地域グループホーム連絡協議会に加入しています。そこで同業者との情報交換等により日常ケアの向上にも繋げています。</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者は同一法人・小規模多機能を利用している方が多いので、ホームの雰囲気及び環境に慣れています。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用時のアセスメント及び家族からの情報により利用者の趣味・特技等の把握に努めています。利用してからも家族等から情報を引き出すよう努力しています。又、利用者の裁縫等のサークル活動を通じて喜怒哀楽が表現出来るような働きかけを行なっています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメント・日常生活の中から利用者の趣味・特技の把握に努めています。部屋の配置等についても利用者・家族と相談しながら行なっています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	居室担当性を採用しています。担当者が利用者のアセスメント・モニタリングを家族等と共同して行なっています。その情報を基にスタッフ等で討議しケアプランの作成を行なっています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	現在は3月毎に見直しを行なっています。大きな変化が生じた時はその都度見直しを行なっています。又、利用者の生活状況の記録に基づいて、見直しの検討も行なわれています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療機関への受診はスタッフが対応しています。床屋等の利用時もスタッフが対応しています。利用者及び家族の意向に沿い臨機応変な対応に心がけています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科関係については往診医師が主治医になることを利用の条件にしています。その他の診療科についてはかかりつけ医対応になっています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームには看護師が常勤で配置されています。家族と主治医・スタッフ等が家族との連携を蜜に行いながら、本年度は1ケース実績があります。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者のプライバシー保護には日常的に取り組んでいます。個別対応や業務連絡により都度の対応が行なわれています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	9月から業務の見直しを行い利用者と共に過ごす時間を少しでも長くするよう取り組んでいます。利用者との「家族」的な関係を構築し利用者の生活ペースに沿ったケアに心がけています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の状況によりきざみ・治療食の対応も可能です。食事に時間のかかる利用者にもケア対応が来ています。食材等には利用者の希望も取り入れています。カロリー把握もされています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しめるように支援している	最低週2回・そのほか希望すればそれに対応することが可能です。特浴対応も行なわれ現在は4名います。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごすように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	野菜の収穫やサークル活動に取り組むことにより、メリハリのある生活を過ごすことが出来るよう支援が行なわれています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ドライブ等利用者の希望を考慮しつつ外出の機会を多くしています。又、家族との外出も可能です。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	施錠はされていないので利用者は何時でも外出が可能です。夜間は家族の承諾を得てセンサー対応になっています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	小規模多機能施設と共同して年2回の非難訓練が行なわれています。そのうちの1回は消防署の立会いで行なっています。また、夜間想定での非難訓練の実施も検討されており、今年度中にスプリングクラーの設置が予定されています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1400キロカロリーを目安にしています。抜き打ち的にカロリーチェックをおこなう等の努力がなされています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の共同スペースには椅子を置き、お茶を飲みながら過ごせるような空間作りに努力しています。廊下やホールには利用者が作成した装飾品が飾られています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の希望により和式化した居室、使い慣れた日用品を活かした生活空間等、利用者及び家族と一緒に作りだす取り組みがおこなわれています。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。